



感じる。

空間に手を伸ばせば

「私」を感じることができるって
なんかで読んだ。

「私」っていうのは、神様のな
なんか、すごいもんらしい。

手を伸ばした

何か感じる？

風を感じる

風がそうなんかな？

他には何を感じる？

お日様の陽を感じる。

お日様の陽が、そうなんかな？

他には何か感じる？

手がだるって感じる

手がだるって感じるのがそうなんかな？

他には何か感じる？

腕が疲れたから頭に手をのせたから

自分の頭を感じる

自分がそうなんかな？

...あ...もしかして

感じるものが、そうなんかな？

そしたら、「私」ばかりやな...

ふっ。

ふっと力が抜けてるとき、
それはやってくる。

いまかいまかと、
待ち構えていたり

期待満々なときは、

いつもがっかりすることになる。

その法則に
気がついてからは、

一回、期待満々になって、
それから、ふっと
力を抜くようにしようと
思ってみたものの、

力を入れるより、
力を抜く方が、
なんと、難しい。

それはいつも、
こちらの予想を、遥かに超え、

まるでこちらを、
驚かせ、びっくりさせて、
喜んでいるようだ。

でも、こちらも十分
喜んでいるけれど。

わけ。

なんかわかんないけど、好きとか
なんかわかんないけど、嫌いとか

意味もなく、うきうきするとか
意味もなく、かなしいとか

わけもなく、はしゃぎたいとか
わけもなく、いらいらするとか

本当はわけは、
ちゃんとあるんだけどね。

時々は、ふわあ〜っと
謎めいた心でいるのも、
悪くないもんね。

忙しい。

忙しい
忙しいって、
みんな言ってるから

忙しくしてないと
やばいような気になっちゃって、

忙しくしたり、
忙しいふりをしたり、

そんなことに、
忙しい。

忙しくしなく、
そのことに
苦しむこともない

それは、考えると
ものすごく、羨ましく感じるのに、

それを満喫してる人がいたら
もうそれだけで
超～好きになってしまうのに、

今日も、忙しい、
忙しいふりに
忙しい・・・

なんでやねん。

心を亡くすと書いて、
忙しいと、読むんやでえ。

視点。

優しいところが好き、
と言ってて

寒いと言ったら、
上着を貸してくれたり。

ご飯をよそってくれたり。

どこにだって
迎えに来てくれたり。

でも、いつの間にか、

自分の上着着るから
いらない、

ご飯くらい、
自分でよそえる、

一人で帰れる、

優しさにいらつき出す。

好きと嫌いは
同じこと。

視点の問題。

もちろん相手ではなく、
自分の。